

# 未来に向かう子どもの学び舎支援プログラム



あたらしいあそびの場

# インクルーシブ  
# あたらしいあそびの場  
# 子ども支援プログラム

## DATA

- **主な連携先・メンバー**  
エドシーク株式会社/株式会社 TRYBE /  
八尾市 政策企画部/関西大学人間健康学部
- **活動地域**  
大阪府堺市/大阪府八尾市
- **活動期間**  
2017 年度～継続中
- **活動資金**  
堺市と関西大学との地域連携事業  
八尾市市民活動支援基金事業助成金

## 目的

「2023 年度堺キャンパスを拠点としたインクルーシブなまちづくり」事業の中で子どもを対象として行ってきた①学生が運営する子どもスポーツ教室「あたらしいあそびの場」、②不登校支援プログラム「未来に向かう子どもの学び舎」を、体験学習プログラムに基づく関西大学発の新しい子ども支援プログラムとして継続、発展させる。

## 連携に至る経緯

- ① 2017 年度からスタートした「あたらしいあそびの場」は、スポーツ経験が豊富で子どもたちの自主性を尊重できる本学部の学生の特色を活かし、多様な年齢層の子どもたちが一緒に遊びながら体力作りと成長ができる事業となった。
- ② 不登校支援プログラム「未来に向かう子どもの学び舎」は、エドシーク株式会社（本学部卒業生岩月聡志氏と浅香山元気プロジェクトの南部貴子氏が設立した会社）と協力し、堺キャンパスで本学部の体験学習プログラムをベースにオランダのイェナプラン教育や体感学習を取り入れ 2023 年度から提供をはじめた。

## 活動内容

①堺キャンパスを拠点に、小学生～中高生を対象とする多層的の支援を展開。学生主体の「あたらしいあそびの場」では、運動遊びや球技、協同ゲーム等を通じて、安心して関わり合える環境を提供した。2024 年度はこれまで村川ゼミが中心に行ってきた「あたらしいあそびの場」に加え、秋原ゼミが「あたらしいあそびの場×コーディネーション」、久保ゼミが「あたらしいあそびの場×サカスポ」「あたらしいあそびの場×サカスポ SoarD（ソアード）」とあそびの場の種類を多様化した。これにより、開催回数は合計 49 回、参加人数はのべで 533 人と昨年よりも多くの子どもたちにこの事業を提供することができた。2023 年度からは、八尾市での活動も展開している。2024 年 3 月にインスタグラムのアカウント（アカウント名：

- @ninken\_asobiba）を開設。
- ②エドシーク株式会社に委託し開催している「未来に向かう子どもの学び舎」は、2024 年度はのべ参加者は 679 名から 816 名と 1.2 倍となり、子どもたちのニーズに対応した事業となっている。また本学部の教職志望学生による学習支援や学校との連携もでき、子どもたちの学習面でのサポートも拡大し、活動回数を増やし受け入れる小学生数を増やすことに注力した。



あたらしいあそびの場×サカスポ



あたらしいあそびの場×サカスポ SoarD（ソアード）



「大学生と遊ぼう! SDGs2024」チラシ

## 今後の課題・目標・展開の可能性

- ▶▶ インスタグラム等での学内外への広報強化で参加機会をさらに拡大。
- ▶▶ 学生スタッフ確保・育成の仕組みを制度化。
- ▶▶ ボランティアサークルとの連携により自走的で持続可能な運営へ。

人間健康学部 教授 村川 治彦 Murakawa Haruhiko



身体性とケアを軸に、自治体と協働して地域課題の可視化と支援モデル構築を進め、住民のウェルビーイング向上に資する実践研究を展開している。



## 連携先からの一言

子どもたちにとって学生との触れ合いは、将来を描くチカラを育て、不透明な将来を明るく照らす太陽となっています。学生たちにとっても、多様な子ども支援を実践的に学べる場だと感じています。

（エドシーク株式会社 南部 貴子氏）